

平成23年度第3回小平市図書館協議会要録

- 1 日 時 平成23年9月15日(木) 午後2時～4時20分
- 2 会 場 中央図書館会議室
- 3 出席者 図書館協議会委員 12名 傍聴者：1名
事務局：中央図書館長、館長補佐兼庶務係長、館長補佐兼調査係長
花小金井図書館長、サービス係長、資料係長、喜平図書館長

4 配布資料 資料は省略させていただきます。

5 議事

(1) 報告事項

① 図書館運営状況について

- ・図書館行事等の報告と今後の予定について(資料No.1)

(これまでの報告)

7月24日 夏休み家族1日図書館員 中央・地区図書館

7月26日 小学生調べ方教室① 1年生～3年生 中央図書館

小学生調べ方教室② 4年生～6年生 中央図書館

8月 6日 レファレンス講座 小平図書館友の会主催

8月10日 インターンシップ学生受入 首都大学～16日

創価大学～23日

図書館実習 明星大学～23日

8月15日 夏休み図書館ボランティア体験講座 ～18日 中央図書館

8月21日 子ども科学講演会「海の生き物の切り紙モビールを作ろう」

むらかみひとみ氏 小川西町図書館

8月24日 夜のおはなし会 上宿図書館

8月25日 夜のおはなし会 中央図書館

9月 5日 「図書などの貸出し規則の変更について」規則改正のパブリック

コメントの開始 ～10月5日

9月7日・14日 児童文学紀行講座 中央図書館

(今後の予定)

9月20日 第2次子ども読書活動推進計画検討委員会 中央図書館 予定

9月28日 講演会「子どもに読みたい絵本～ロングセラーを見直してみよ

う～」湯沢朱実氏(小平市子ども文庫連絡協議会主催)

中央図書館予定

- 9月29日 小平図書館友の会との懇談会 中央図書館 予定
- 10月22日 なとりちづ絵本原画展（仮題）
～11月16日 中央図書館 予定
- 10月27日 小・中学校協力員研修 中央図書館 予定
- 10月29日 児童文学講演会「わたしたちの絵本づくり」
大友康夫氏・なとりちづ氏 中央図書館 予定
- 11月16日 大人のためのおはなし会 小川西町図書館 予定
- 11月19日、26日 「父親のための絵本読み聞かせ講座」花小金井南公民館
中央図書館職員 予定
- 11月24日 第4回図書館協議会 予定

・平成23年度月別貸出状況について（資料No.2）

月別館別貸出資料数は、今年度8月末までに679,714点貸出し、前年同期は711,535点であり、31,821点減少している。東日本大震災の影響など様々な原因が考えられる。

・広域利用市別貸出状況について（資料No.3）

貸出者数、貸出資料数とも、減少しており、特に東村山市、次いで東久留米市の減少が多かった。4市の中では、東村山市民の利用が多くなっている。

② 実習生の受け入れについて

8月10日からインターンシップ生として創価大学2名、首都大学2名と司書資格修得のための実習生として、明星大学から1名を受入れた。

職場体験、キャリア教育という観点から積極的に受け入れしている。

③ 市議会9月定例会について

図書館に関する代表質問、一般質問ともになかった。一般質問において、関連ということで「磁気ループを活用し聴覚障害者と中途失聴者に聞こえのバリアフリーの実現に向けて」という質問の中で、仲町公民館・図書館など今後新設する施設への設置はいかがかという質問があった。新施設への設置は、利用者の要望等を考慮した上で、検討していくという答弁をしている。

もう1点は、「公共施設のインターネット接続環境改善とパソコン設置について」という質問の中で、公共施設に無線LANの設置についての質問があった。この点については、サービスの提供と負担、各施設のあり方等を踏まえて検討していくと答えている。

④ 小平市一般会計補正予算（第2号）について

図書館に関する部分では、「中央図書館に太陽光発電装置を設置するための設計委託費として210万円」「2階参考室と読書室の照明器具を効率の良い安定器に交換する費用として105万円」計上している。

⑤ ブックリサイクルについて（資料No.4）

毎年好評のブックリサイクル事業を、今年度も10月、1月、2月に実施する。市報・ホームページで広報する予定である。

⑥ 事業仕分について（資料No.5）

昨年に引き続き事業仕分が実施され、図書館は、3事業が対象となり事業調書をもとに5名の審査委員により仕分が行われた。まず、図書館情報総合管理システム事業は、平成24年度にシステムの更新があり、その際に見直すことは、多摩六都共通利用カードの導入、建替え後の仲町図書館の資料にICタグを添付することが方針で決定しているため、その対応がある。仕分け結果においても、調書と同様の見直す必要がある。「市（要改善）」であった。委員からは、更新にあたって利便性と経済性を考えてほしいという意見があった。

次に、逐次刊行物及びタウン誌の収集、整理、保存事業は、他機関での利用が可能であること、仲町図書館が休館に入ることなどの理由により、中央図書館で必要な資料、主に多摩地域のタウン誌を収集していくこととし、仲町図書館での収集は廃止とした。仕分け結果も「廃止」となった。

最後に、障がい者サービス事業は、現状のままとしサービス内容を広く周知し、充実していくとした。仕分け結果は、「市（要改善）」であった。委員からは、利用率のアップと他課等との連携を、という意見があった。

⑦ 図書などの貸出規則の変更について（資料No.6）

利用者の方々から多く要望が寄せられていたリクエストの拡大については、図書資料を5冊から10冊に及び視聴覚資料を2点から3点にすることとした。一方でサービスを効果的に導入するため、返却期限3週間経過しても返却しない利用者に対して、返却するまで貸出を停止するよう規則の改正を行う。また、新たに貸出停止の規定を設けることから、9月5日から10月5日までパブリックコメントを実施し、市民の方々から意見をいただいている。さらに、視聴覚資料の貸出しについても2点から3点へ規則を改正する。これらの変更については、11月からホームページ、市報、チラシ、ポスターで広報するとともに、対象者には個別に周知し、平成24年1月からの実施を予定している。

<報告事項についての質疑・応答>

委員：規則の改正の中で視聴覚資料はカセットテープも含まれるのか。

事務局：視聴覚資料は、カセットテープとCDである。改正内容については、図書資料の予約は10冊、視聴覚資料3点になり、延滞が3週間経過すると貸出停止となる。

委員：図書資料の返却の延滞は、どのくらいの率か。

事務局：統計を調べたところ、返却期限を守る利用者は65%程度であり、1週間経過すると80%、2週間で90%、3週間95%、4週間以降は、1週間ごとにほぼ1%ずつ返却されている。

委員：中学2年生の職場体験では、自分の関心のある職場を選んでもらっている。図書館でも受け入れをしてもらい大変お世話になっている。

事務局：図書館でも中学生が一生懸命働いてもらい助かっている。

委員：9月20日の子ども読書活動推進計画検討委員会について、詳しく説明してもらいたい。

事務局：推進計画に関係がある、教育委員会の指導課、学務課、生涯学習推進課、公民館、市長部局では児童課、保育課、健康課などの課長が集まり、計画の平成22年度の進捗状況等を報告している。結果がまとまればホームページなどで報告する。

委員：貸出数や来館者数が全体的に減少しているのが震災の影響ということは納得できるが、近隣の自治体も減少しているのか。

事務局：近隣の自治体については把握していない。今後、調べていきたい。

委員：月別・館別貸出資料数がマイナスになっているが、来館者数は把握しているのか。

事務局：純粋な来館者数は把握していないが、貸出者数としては押さえている。

委員：ブックリサイクルは、約47,000冊であるが新規購入するのは何冊ぐらいか。

事務局：新規購入は毎年25,000冊ぐらいであり、リサイクル資料数は毎年同じくらいであるが、今年度は、仲町図書館の所蔵資料の関連で積極的に副本等を除籍しているので、もう少し多い数になる。

委員：リサイクルで残った資料はどうしているか。

事務局：他自治体の古い行政資料などであり廃棄している。

会長：貸出規則の改正で協議会として意見をまとめる必要があるか。

事務局：パブリックコメントか、この場で何か意見があればお聞きする。貸出停止をしている市は14市ある。また、貸出期間については、2週間がほとんどであり、3週間は小金井市・昭島市・あきる野市である。予約件数について近隣市では、西東京市・清瀬市・府中市が30冊。20冊は、小金井市・東村山市・多摩市・あきる野市などとなっている。10冊も比較的多く八王子市・

青梅市などである。

会 長：図書館の改正の目的は、予約冊数の拡大をするが、返却期限は守ってもらいたいということなのか。

事務局：早く返却してもらうことにより、多くの利用者に早く手に取ってもらうことができる。また、現在も予約がある場合は、延滞するとメール、電話などで督促している。

委 員：返却期限内に返却されていない場合、どのように督促しているのか。

事務局：3か月経過して返却されていない場合は、続けて4回督促状のはがきを出している。その結果、返却される方が8割で、2割の方々が、年間で200人ぐらいい残っている。電話などして連絡がつかない場合は、家まで行くこともある。市民の財産でもあるので返却するまで督促している。

委 員：返却期限内に返却する人の数字の65%は驚いた、80%ぐらいと思っていた。

会 長：予約冊数が増えたことにより、延滞者の数が増えないことを祈っている。

委 員：研究されている方について、10冊以上貸出することを検討しているか。

事務局：基準が難しいため現在は、検討していない。予約がなければ1回の延長が可能なので、その範囲内でお願いしたい。

委 員：ブックリサイクルの日程だが、これは中央図書館の日程なのか。

事務局：全館一斉に、この日程で実施する。

委 員：仲町図書館が開館する時に、資料の特別の予算枠はあるのか。

事務局：市の政策課に実施計画として予算要求しているところである。

会 長：具体的には、どのくらい予算要求しているのか。

事務局：仲町図書館は、開架30,000冊を予定しており、その内の20,000冊を新しくしたいと予算要求している。

会 長：仲町図書館の関係で他に何か動きはあるか。

事務局：今は、実施設計の段階で床材や配線など市のたてもの整備課と設計事務所とで進めている。図書館としては、仲町図書館の蔵書の整備、具体的には、仲町図書館所蔵の小平市で1冊だけの本の資料を抽出して残すための仕分け作業を行っている。

委 員：図書資料は、定価で新刊を購入するのか、それともアマゾンなど安価で購入するような中古で買うのか。

事務局：図書館の資料は、バーコードや書誌を買ってカバーを張る作業があり装備付きで購入している。また、購入に限らず一度読まれただけのような寄贈された資料も平成22年度は、約2,200冊受け入れている。

委 員：図書は定価で買わなければならないと法律で決まっているが、図書館は装備付の定価で買っているのか。

事務局：そのとおりである。

委員：本の購入は、地元の書店から購入していると理解していたが。

事務局：小平書店会を通して購入している。

委員：11月19日の父親のための絵本読み聞かせ講座は、公民館からの依頼で実施するのか。

事務局：花小金井南公民館の事業の1つとして父親がわが子に読み聞かせをしたり、地域の父親の連携をつくるために行う事業である。

委員：対象は、男性か。

事務局：原則は、男性である。

委員：返却期限を守らないことに関連して、本の盗難についての現状はどうなっているか。

事務局：本の盗難については、対策をいろいろと考えている。具体的には中央図書館において、2階参考室を利用する際、荷物はロッカーに入れ、持ち込まないようにしている。また、1階の開架部分は、職員が定期的に巡回していることと、本に小平市の図書館所蔵であることが分かるように刻印や本の天と地にゴム印などを押印し表示している。

委員：モニターテレビを使用したらどうか。

事務局：常に開館中、監視していなければならないので難しい。現在、防犯カメラは、中央図書館職員通用口に設置してある。

委員：図書館は、本に対するモラルを啓発することについて、今まであまり行わずアピールに欠けていた。今後の大きな役割ではないか。汚れた本や切り取られた本、虫に食われた本を展示する方法もある。これがかえって関心を呼ぶ。広報の一環として考えていく必要はある。

委員：以前、本の書き込みや汚破損本について展示を行ったと思うが。

事務局：昨年、一昨年に小平図書館友の会主催により市内全図書館で行った。

委員：太陽光発電については、雨漏りなどのデメリットもあるので確認したほうがよいと思う。

事務局：市のたてもの整備課に確認しており、構造的には大丈夫ということではあるが、十分注意していきたい。

委員：仲町図書館は太陽光発電を設置するのか。

事務局：新しい施設は、設置する方向である。

委員：仲町図書館の基本設計は節電の前の設計なので網戸など付けられるのか。実設計の段階で節電対策になるような設計にしてもらいたい。

事務局：プロポーザル方式で設計事業者は決定しており、その中に、環境やエネルギーに配慮したものとする課題があった。設計事業者からも自然の風や光を多く取り入れる提案がされているので、網戸の取り付け設置も可能とのことである。

(2) 協議事項

なし

(3) その他

委員：図書館講演会として、今年度の事業予定はあるのか。

事務局：図書館の講演会としては、児童文学に関するものが多い。一般対象は公民館などで行っている。以前にその辺りの予算のすみ分けが行われ、このような実態となっている。年間予定はこの協議会で示していないが、今後の予定の中で随時報告していく。

委員：3月11日の大震災に合わせて、何か講演会ができればと思う。